



1



2



3

1_「to know」プロジェクトとして、遠野物語について授業を実施 2_今年8月には、遠野文化友の会などと「寺島紗穂ライブ遠野へ、あなたとわたしのわらべうた」を開催 3_地元の人に、地域の歴史やその人自身のお話を聞きに行くことも多い


豊かになったりするよう、そんな活動や事業をつくっていききたいと考えています。

その土地の心を残すことと同じだと感じています。過疎化や人口減少などは全国的な課題ですが、地域文化が誰かの心の支えとなったり、日々が豊かになったりするよう、そんな活動や事業をつくっていききたいと考えています。

イベント 10月に企画しているイベントです
お気軽にお問い合わせください

第12回おもしろTONO学
「遠野の里の物語」事前予習！& 演芸好きな市民性の秘密を探る

- 日時:10月7日(日)9時~15時半
- 集合:伊藤家(遠野市中央通り2-11)
- 内容:市民センター大ホールで開催する遠野小「遠野の里の物語」の事前予習と、遠野人の演芸好きな市民性に迫ります。
- 参加費:2,500円(市内在住の方:1,500円)
- 問い合わせ
to knowプロジェクト
富川
メール:gaku@tomikawaya.com



「埋もれた地域文化をつなぐ」
多世代交流プロジェクト 及川敏恵さん

遠野に来る前はどんなことをしていましたか？

途上国支援の団体に勤めていました。私自身も青年海外協力隊として中米のグアテマラに赴き、風土病の予防啓発や、それに伴う集落の生活環境等の調査に従事。帰国後はその経験を生かし、建設コンサルタントとして行政対応・海外展開に関わる業務を行って

ていました。

遠野には何度か訪れたことがあり、その土地の文化や人情に触れ、惹かれるものを感じました。出身が岩手県という点もあり、これまで外に歩いてきた視点を内に向け、自分の足を改めて深く見つめ直すいい機会になると思い、プロジェクトに応募しようと思



「埋もれた地域文化をつなぐ」
多世代交流プロジェクト 及川敏恵さん

遠野に移住し起業を目指す皆さんを紹介
遠野で起業に挑戦中！
Vol.7

平成28年から市と(株)ネクスト commons が手がける「ローカルベンチャー事業」。遠野に移り住んだ10数人の地域資源を生かした起業・事業化や自立に向けた活動の様子、イベント情報などをお伝えします。

遠野に来てからどんな活動をしてみましたか？

土淵町の米通り集落を中心に、地域の人たちの活動をサポートさせてもらっています。この活動以外にも、仲間と一緒に価値ある地域文化を繋いでいく「to know」というプロジェクトを立ち上げ、活動しています。具体的には、勉強会や、イベントの実施、聞き書き、また今後の事業化を視野に入れた後方の作業をおこなっています。表に見えるものだけでなく、日々の生活の中で地域文化を繋ぎ支えてきた人たちの存在を伝えていければと思っています。

レポート 9月の活動のトピックをお伝えします

▼遠野まつりに参加しました！
9月15日・16日に開催された遠野まつりに、隊員たちも参加しました。

張山しし踊りには富川、橋本、及川隊員。一日市南部囃子には室井、小関隊員。仲町南部囃子には太田隊員が参加



▼ビールプロジェクトに新メンバー！
ビールプロジェクトに新しく2人のメンバーが加わりました。ホップ生産、ビールの里に向けた広報活動などを行います。

左から
○金井要樹さん、千葉市からホップ農家
○上西尚宏さん、世田谷区からビールプロジェクトプロデューサー



遠野文化研究センターだより とおのじん -其の5-

遠野人

遠野文化研究センターの活動に興味を持っていただけるような情報を、6月からお届けしています。今月は駅前通りの気になる彫刻たちです。



彫刻「こだま91」を解説する筆者

色々な使い方がされました。


遠野市は平成3・4年(1991・1992)にかけて海外の童話や遠野の民話を題材とした彫刻10体と、歩道陶板8種類を駅前通りに設置する「民話の道」整備事業などを行いました。おやゆび姫、雪女、桃太郎など、バラエティーに富んだテーマの彫刻が、新進気鋭の芸術家によって作られました。これらの作者は現在では大御所となり、その作品価値は年々高まっています。

しかし、そのことを知る市民は少なく、このままでは価値ある作品たちが埋もれてしまう…との危機感から、5月に「まちなかアート再発見」という講座を企画し、駅前通りの見どころを解説しながら参加者と1時間かけて歩きました。

作品のいくつかを紹介すると、観光客に大人気の駅前のカッパ像「河童 それぞれの楽しみ」の作者は、池田宗弘氏という有名な彫刻家です。実は池田氏はあの人気「仮面ライダー」のライダーベルトのバックルを

★今月のプレゼント

このコーナーへご意見・ご感想をお寄せいただいた方3名様へ、抽選で明治のまちなか観光ガイド本『遠野案内』をプレゼントします。①お名前②ご住所③電話番号④感想一を添え郵送、ファクス、メールのいずれかで下記まで送付ください。*締切10月31日(水)



★今月の筆者 前川 さおり

遠野文化研究センター副主幹。1970年山形県生まれ。『遠野物語』に憧れ、大学卒業後に移住。遠野テレビ「遠野まつり」の実況解説でおなじみ。



作った人です。また裁判所前にある山本正道氏(東京芸大名誉教授)による「こだま91」という像は、風によって聞こえてくる遠野三山の物語に耳をすます少女だそうです。これら彫刻の中にはスマートフォンゲームの遊ぶ場所に設定されており、時々人が集まることもあります。

講座の参加者からは「遠野が新鮮に見えた」「観光ガイドに役立てたい」「楽しかったのでどんどん広めたい」などという感想をいただきました。それだけでも十分うれしいのですが、ある参加者は、講座後「自分の好きなマイ彫刻を決めて朝そこまで散歩している。ゴミが落ちていけば拾うようになったよ」と教えてくれて、とても感激しました。

このような地道な講座は、普段の遠野が違って見える小さな「種」をまくようなもので、すぐに観光客が増えるなどの結果につながる訳ではありません。しかしこれをきっかけに、住民の皆さまが遠野に住むことを楽しみ、好きになって、その想いを市内外の人に伝えてもらえたらと願っています。駅前通りの彫刻をはじめ遠野にとって当たり前なのが、地域の新たな宝になるのではないかと考えています。



駅前のカッパ像を見学する参加者

★寄せられた声

このコーナーをご覧の方々からお便りをいただきました。

- ・金取遺跡を地元の学芸員が追求しているのはすばらしい(穀町在住、女性)
- ・「日本最古級の遺跡」なんてすごいことだなぁとワクワクしました(綾織町在住、女性)
- ・遠野に住んでいる事に誇りを感じます(宮守町在住、女性)

★問い合わせ:遠野市東館町3-9(遠野市立博物館内)/TEL:60-2800/FAX:62-5758/MAIL:tono100@city.tono.iwate.jp